

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2453
研究開発課題名	子どもの暮らしを豊かにする眼球運動検査・トレーニングエコシステム構築のための機器・システム開発
研究代表者	関西学院大学 工学部 教授 山本 倫也
研究開発成果の概要	子どもの学習障害、発達性協調運動障害との関連が指摘される眼球運動能力の向上のため、視線計測・デジタル技術を活用した「眼球運動トレーニングシステム」を開発するとともに、神戸エリアの放課後等デイサービス、小学校、教育相談センター、家庭などで実証評価し、検査・トレーニング・効果検証を繰り返すエコシステム循環を担う基盤の確立を進めた。

#### 総合評価

社会実装への熱意をもっており、研究開発のみならず事業化に向けてステークホルダーの評価・関係構築を短期間で実施、成果が得られたことは高く評価できる。実用化に向けては、システムの有効性を説明できるようにエビデンスを補強し、継続的な検証を行うことを期待する。また社会課題としての啓発を進め、事業確度を高める必要があると考える。

以上